




令和 6 年 度

事業計画書

社会福祉法人 洛南福社会

施設長	施設長	施設長
		

# 令和6年度 事業計画（案）

社会福祉法人 洛南福社会  
管 理 職

## 【令和6年度 方針】

法人理念及び基本方針を体現すべく各職員が目的及び目標を理解し、自らの役割を果たす。

## 【重点目標】

### 1. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者のご家族を笑顔にするため、業務改善やイベントを各2つ以上企画する。
- ・介護技術及び認知症対応について、知識及び技術力をアップさせるため法人独自の取り組み（介護PJTや認知症研修など）を意識的に活用する。
- ・ご利用者の声を聴き、多くのニーズを集め選択肢を作る。

### 2. 地域に根差す

- ・当法人及び各事業所から地域との繋がりを強化するため、イベント等を提案・実行する。
- ・地域の社会資源と連携をもつ。

### 3. 人材確保・育成

- ・人材確保について、大学及び高等学校と新たに繋がりをつくる。
- ・実習生に当法人の魅力を伝え、入職希望者を確保する。
- ・令和6年度の方針を念頭に置き、組織力強化を目標に役職者及び一般職員の指導を行う。

### 4. 経営の安定

- ・事業計画を達成する。
- ・稼働については、各部署長が必ず分析を行う。
- ・PDCAサイクルを実施する。
- ・新規事業を開始させる。
- ・令和6年度の報酬改定を理解し、必要な加算要件を満たす。

# 令和 6 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福社会  
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

## 【令和6年度 方針】

ご利用者、ご家族にとっての楽しみや喜びを実現する為「出来る事」「やりたい事」を関わりの中から捉え、提案し実践していく。各職種が自らの役割を全うする。

## 【重点目標】

- 1, ご利用者の生活の質の向上
  - ・年間行事への参加と協力をご家族に依頼しご利用者と一緒に楽しむ。
  - ・ご利用者が楽しめるイベントを地域資源の中から探し交流をする。
  - ・ご利用者の変化に対応すべく、ツールを活用したニーズの分析と個別援助計画の定期的な見直しを行う。
  - ・専門職としての資質向上の為、各職種が必要と思われる研修に年1回以上は参加する。
  
- 2, 食生活の充実
  - ・委託給食会社と連携し五感を刺激する面前提供や、ご利用者と職員が一緒に作って楽しめる食事イベントを企画し実践する。
  
- 3, 事業運営の安定
  - ・2か月に1度レーベン横大路相談員と稼働状況の評価、課題分析を行い特養・ショートステイを合わせた年間稼働率95%を目指す。
  - ・感染症発生時、BCPの活用が強化できるよう訓練や研修を通して内容を周知する。

# 令和6年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ヴィラ向島 ショートステイ

## 【令和6年度 方針】

特養との一体の流れの中で、本人様・家族様が笑顔になるサービスの提供を行う。

常に目的・目標を意識し、サービスの質を向上させる。

## 【重点目標】

### 1. 稼働の安定

- ・これまで関りのある事業所との関係性を維持しつつ、新たな事業所にも営業を行い、新規利用者を獲得する。
- ・予定作成段階での稼働率をショートステイベット数だけで90%以上にする。

### 2. サービスの質の向上

- ・ベットメイク、掃除、居室整備の質を上げる。
- ・返却忘れがあった際、すぐに原因の検証、手順の修正を行い、同じ失敗を繰り返さない。
- ・ご利用者、ご家族、ケアマネジャーのニーズを捉えるためアンケートを半年に1回実施し、アンケート結果の評価・改善を行いサービスの質を向上させる。

### 3. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご家族、ケアマネジャーより知り得た情報を記録に残し、心身の状態に変化があった際、カンファレンスを通し分析とケアの統一を行い、実践に移す。
- ・ご利用者の過ごし方についてSNSやビデオ通話を活用し、全てのご家族、ケアマネジャーに伝える。

# 令和6年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
総務部

## 【令和6年度 方針】

令和6年度は会計区分の変更はないが、4月からヘルパーステーションヴィラ向島にて新たに定期巡回事業が開始予定の為、前年度以上に収支のバランスを意識する。

6月からは従来の介護職員処遇改善加算と特定処遇改善加算及びベースアップ等支援加算の三つが統合され、新たな処遇改善加算となる。この加算を職員の定着化やモチベーション向上に有効活用する。

人材確保については、高校求人からの新卒3名を含めた5名が決定しているため、6年度も様々な学校や企業等との関係を強化していき、安定した人員の確保を行えるシステム構築を図る。

## 【重点目標】

### 1. 会計の分析

- ・前年に比べ水道光熱費や保険衛生費も落ち着いて来たので、コスト意識を持って半期決算を行い、前年度や前々年度と比較を行い事業計画の進捗状況を把握する。

### 2. 人材の確保

- ・常に採用ツール（就職説明会、HP、Instagram等）をアップデートし、適切な人材確保と定着に取り組む。

### 3. 業務の効率化

- ・日々の事務作業の電子化をすすめ、作業の効率化を図る。
- ・小口現金の管理に関して、出納管理者の確認を毎日ではなく毎月に変更を行う。
- ・入居者にとって暮らしやすい、職員にとって働きやすい施設となるように常に修繕が必要な場所と備品の破損や不足に意識を向ける。  
大規模な修繕が必要な部分に関しては、法人の建物ごとに改修計画を作成する。

## 令和6年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ヴィラ向島デイサービスセンター

### 【令和6年度 方針】

法人理念、基本方針を基とし、通所介護の求められる役割と利用目的を各職員が理解し、ご利用者が在宅生活を継続できるサービスを提供する。

また、ご利用者、ご家族のみならず地域のための社会資源として役割を全うすべく職員の専門意識の向上を目指す。

### 【重点目標】

#### 1. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者の在宅生活継続のため、一人ひとりの有する「強み」「好きなこと」「興味関心が持てること」「得意なこと」を続け、「生きがい」につながる楽しみを発見、実践する。
- ・要介護高齢者を支えるご家族の直接の声を大切にし、施設見学の機会拡充や相談しやすい関係性の構築をする。
- ・認知症、重度要介護者の受け入れをより高いレベルでサービス提供ができるように「介護ランク制度の活用」「認知症対応型通所介護ランランランスマイルケアとの認知症合同研修」を実施する。

#### 2. 地域に根差す

- ・むかいじままつり等の地域イベントに参加し事業所の認知度を高める。
- ・保育園、学校等のつながりを強化するため合同イベントや訪問、見学する機会を作り地域の福祉、教育機関に施設の社会資源としての役割を知ってもらう。

#### 3. 人材確保・育成

- ・実習を充実すべく他部署実習や専門職の講義等を実施し法人の魅力を伝える。
- ・職員個々の強みや得意なことをケア内容に反映し「やりがい」につなげ人材の定着、育成する。

#### 4. 事業運営の安定

- ・イベント、行事の際にケアマネジャーにも訪問、見学していただきサービス内容の魅力を伝え、利用者紹介、増回利用、新規利用者を獲得する。
- ・毎月の平均登録者数を月210名、1日32名以上の利用率を目標とし稼働率90%以上を目指す。

## 令和6年度 事業計画 (案)

社会福祉法人洛南福祉会  
ヴィラ向島居宅介護支援事業所

### 【 令和6年度 方針 】

介護保険法の趣旨を踏まえ法人理念と基本方針に則り、ご利用者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるように各職員が目的、目標を理解し自らの専門職としての役割を果たし支援していく。

### 【重点目標】

#### 1. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者、ご家族に対して満足度アンケートを年1回実施し、評価分析し、望む暮らしを支援する。
- ・法人独自の研修に参加し認知症ケアのスキルを高める。

#### 2. 地域に根差す

- ・むかいじま祭りや地域ケア会議等、地域活動に積極的に参加し、社会資源と連携を図る。

#### 3. 人材の確保・育成

- ・個別具体的な研修プログラムを策定し、目標に合わせた、外部研修に参加する。
- ・役職者が半年に1回以上スーパービジョンを全職員に実施する。

#### 4. 経営の安定

- ・介護支援専門員1名あたり月35件のケアプラン作成を実施するために毎月稼働状況を分析する。
- ・特定事業所加算Ⅲの算定を維持する。
- ・居宅予防支援会議を活用し介護報酬改定に準じた運営を行う。

## 令和 6 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ヘルパーステーション ヴィラ向島  
ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

### 【令和 6 年度 方針】

ヘルパーは在宅生活を継続していくうえで、その中核を担う役割であることを理解し、誇りと責任をもったサービスを提供していく。

### 【重点目標】

#### ① 人材の確保

- ・若い人にヘルパーの仕事を身近なものに感じてもらうため、他部署の実習生への講義や新たな学校への訪問を行い、繋がりつくる。
- ・ヘルパー全員が SNS を活用できるようになり、少しでも多くの魅力を発信する。

#### ② 職員の資質向上

- ・介護技術、認知症の知識等、意味と根拠を理解した上で支援を行う。
- ・職員が個別の目標を意識して取り組めるよう、全ヘルパーと半年に一度（人事考課時）面談の機会を持ち達成できるように指導する。
- ・常勤職員全員が介護 PJT の基礎ランク、C ランクを受験し合格する。

#### ③ 安定した事業運営

- ・長期的な利用を見据え、要支援の方も積極的に新規獲得する。
- ・サービス提供責任者は事業所の強みを明確にし、毎月 1 回以上は居宅等へ営業に行き、前月より件数が上回るようにする。
- ・毎月、事業計画の振り返りを行うことで、達成する。

#### ④ 地域に根差す

- ・職員が地域で仕事をしていることを再認識するために、地域のイベントに積極的に参加する。



## 令和6年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
ヘルパーステーション ヴィラ向島  
(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

### 【令和6年度 方針】

介護が必要になっても最期まで住み慣れた地域、自宅で暮らしていただくために、24時間・365日、在宅生活を支えるサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）を提供する。

### 【重点目標】

#### ① 人材の確保

- ・実習生や学校訪問を通して、施設や訪問介護とは違う魅力を発信する。
- ・事業の周知や魅力発信のため SNS を月1回以上活用する。

#### ② 職員の資質向上

- ・職員が訪問介護との違い、定期巡回の役割を理解する。
- ・知識・技術の意味、根拠を理解したうえで支援を行う。

#### ③ 安定した事業運営

- ・地域の全ての居宅介護支援事業所に事業の説明の機会を設けて頂き周知する。
- ・適切なアセスメントを行い、あくまでも自立支援が目的であることをケアマネジャー・ご利用者に理解して頂き、必要な支援を提供する。
- ・利用者数だけを意識せず、平均要介護度も考慮しながら新規獲得していく。
- ・連携先の訪問看護事業所を増やす。
- ・毎月、事業計画を振り返ることで達成する。

#### ④ 地域に根差す

- ・地域の社会資源と連携をもつ。
- ・地域で唯一の事業を行うため、運営推進会議や地域のイベントに積極的に参加し、地域の方にも事業を周知する。

## 令和 6 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福社会  
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

### 【令和 6 年度 方針】

洛南福社会の法人理念である「共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり」を基に、入居者と共に協力し合い「生活の質」「意欲」「幸福感」の向上が実現できるよう環境づくりを行う。

### 【重点目標】

#### 1. 生活の充実と共感

- ・ イベントや入居者懇談会を通じて、入居者の希望や抱える課題を汲み取り職員間で共有、何が必要かを検討し実行・評価する。
- ・ 地域イベント参加やボランティアを招いてのイベントを開催、入居者の地域社会への参加を促す。
- ・ 安心して生活できるよう清潔で快適な環境づくりを行い、ケアハウス全体の幸福感を高める。

#### 2. 入居者確保の為の広報活動の実施

- ・ SNS の活用、地域イベントへ積極的に参加しケアハウスの存在や魅力を発信する。
- ・ 紹介会社からの入居率年間 5 割を目標に、月 1 度の包括支援センターへの訪問営業または電話にて施設の入退情報を発信、待機者確保に繋げる。

#### 3. 災害・感染症等に対する取り組み

- ・ 災害・感染症の BCP に基づき、入居者と共に訓練を実施し、定期的な見直し改善を行う。

#### 4. 職員の資質向上

- ・ 入居者の人権や尊厳を守るため、職員同士でのコミュニケーションを強化、し、日々の対応から定期的なフィードバックを行い、改善を意識する。
- ・ 入居者の感情や心理状態の理解を深めるため、職員間で情報を共有し評価改善を行う。

# 令和6年度 事業計画（案）

社会福祉法人 洛南福祉会  
元源 深草

## 【令和6年度 方針】

法人理念及び基本方針を意識し、専門職としての知識、経験をもとにコミュニケーションを密にし、日々笑顔で協働する事で人材の定着・良質なサービスを提供する。

## 【重点目標】

1. ご利用者の満足度を向上させ、笑顔を引き出す
  - ・年1回以上満足度アンケートを実施、評価・分析を行いご利用者のニーズに沿ったサービスを提供する。
  - ・毎週 SNS を発信し、取り組みやご利用中の様子をご家族にも見ていただき、安心してサービスを利用してもらう。
2. 地域連携の維持・拡大
  - ・地域ケア会議・運営推進会議に参加するとともに SNS を活用し、事業所の活動をアピールする事で、地域に必要とされるデイサービスを目指す。
  - ・地域組織の活動に年2回以上参加する。
3. 人材の定着・育成
  - ・法人内介護ランク制度基礎ランクの全職員合格を目標に、知識と技術を高める。
  - ・元源との職員交流を継続的に実施し、業務内容等見直し更新する。
  - ・併設の居宅介護支援事業所と合同で事例検討会や研修会を年2回以上実施する。
  - ・年間計画に沿って法人内外の研修に参加し、職員の資質向上に努める。
4. 事業運営の安定
  - ・介護報酬改定を理解し、法令に準じた運営を行う。
  - ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などの関係機関との連携を積極的に行う。
  - ・定員枠上限までの登録維持に努め稼働状況を毎月分析し、年間平均90%以上を目標に稼働の安定を目指す。

## 令和6年度 事業計画 (案)

社会福祉法人洛南福祉会  
ケアプランセンターあかつき

### 【 令和6年度 方針 】

介護保険法の趣旨を踏まえ法人理念と基本方針に則り、ご利用者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるように各職員が目的、目標を理解し自らの専門職としての役割を果たし支援していく。

### 【 重点目標 】

1. ご利用者の生活の質の向上
  - ・ご利用者、ご家族に対して満足度アンケートを年1回実施し、評価分析し、望む暮らしを支援する。
  - ・法人独自の研修に参加し認知症ケアのスキルを高める。
2. 地域に根差す
  - ・地域課題に基づいた研修を立案、実行し社会資源と連携を図る。
  - ・地域組織の活動に年2回以上参加する。
3. 人材の確保・育成
  - ・個別具体的な研修プログラムを策定し、目標に合わせた、外部研修に参加する。
  - ・半年に1回以上スーパービジョンを全職員に対して実施する。
  - ・併設のデイサービスと合同で事例検討会や研修会を年2回以上実施する。
4. 経営の安定
  - ・介護支援専門員1名あたり月35件のケアプラン作成を実施するために毎月稼働状況を分析する。
  - ・3名体制になった際に速やかに特定事業所加算Ⅲの算定を開始する。
  - ・居宅予防支援会議を活用し介護報酬改定に準じた運営を行う。

## 令和6年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 洛南福社会  
ランランルンルスマイルケア

### 【令和6年度 方針】

法人理念を念頭に、認知症対応型通所介護の目的である認知症の緩和を各職員が理解し、ご利用者の状態に合わせた個別ケアを提供する。

また、共生社会の実現を目指す認知症基本法に則り、向島地域の社会資源としての役割を全うする。

### 【重点目標】

1. 認知症ご利用者の生活の質の向上
  - ・「認知症の進行予防」「見当識に関わる訓練」「生活機能訓練」に焦点を当て、ご利用者ごとに持続可能な個別ケアを展開する。
  - ・専門職として中核症状の失行等、動作に対する正しい知識の習得、介護技術を実施できるよう介護ランク制度を活用する。また専門性の維持及び向上を図る為、ヴィラ向島デイサービスセンターとの認知症合同研修を実施する。
  - ・ご利用者の声からイベントを企画して実現する。
2. 地域に根差す
  - ・向島けんこうクラブ、向島まつり、学区ごとの健やかサロン等への参加を継続し地域の社会資源として協力関係を拡大する。
  - ・小中学校との交流会を継続し、共生社会が体現できる地域関係を構築する。
3. 人材確保・育成
  - ・実習内容及び選択肢の拡充を図り、実習生に対し法人及び事業所の魅力を発信する。
  - ・他部署と連携し、全職員の指導機会を確保する。
  - ・テーマ別に各職員が勉強会を開催し、学習の言語化及び指導力を向上する。
3. 事業運営の安定化
  - ・全登録枠を確保し事業の安定化のため年間稼働率 80%以上を達成する。
  - ・居宅介護支援事業所向けに、個別の見学案内及び営業活動による事業所の魅力発信を行い利用者紹介や新規利用者を獲得する。
  - ・伏見区向島地域の全居宅介護支援事業所からご利用者を獲得する。

## 令和6年度事業計画（案）

社会福祉法人 洛南福祉会  
京都市向島地域包括支援センター

### 【令和6年度 方針】

法人理念及び基本方針を念頭に、高齢者が住み慣れた地域で暮らしを継続できるように、地域住民や関係機関とネットワークを構築し、支援していく。また、自然災害等不測の事態への対応について関係機関と連携を図る。

### 【重点目標】

#### 1. 地域包括ケアシステムの構築

- ・向島けんこうクラブの活動をはじめ、日頃から関係機関との連携を図る。
- ・地域の高齢者の個別支援を通して、地域課題を抽出し解決策に繋げる。

#### 2. 地域に根差す

- ・認知症の方を地域で見守る体制を整えるため、年1回以上「認知症サポーター養成講座」の開催や年1回「高齢者の声掛け訓練」を実施する。
- ・地域住民や関係機関と共に高齢者が集える新たな居場所を二ノ丸・藤ノ木学区に作る。

#### 3. 人材の確保・育成

- ・事例検討会を年1回以上開催し、ケアマネジメントの質を高める。
- ・毎月ケアマネジメントや業務改善についてセンター内で検討し、理解を深める。
- ・各職員年1回以上外部研修に参加し、センター内でフィードバック研修を実施する。

#### 4. 経営の安定と非常時の備え

- ・毎月人員配置状況を確認しながら新規対応を行い、稼働を維持する。
- ・地域の防災訓練への参加や地域ケア会議等で関係機関と非常時について検討する。
- ・居宅予防支援会議を活用し、介護報酬改定に準じた事業所運営を行う。

## 令和6年度 事業計画（案）

社会福祉法人 洛南福社会  
特別養護老人ホーム レーベン横大路

### 【令和6年度 方針】

法人理念を念頭におき、ご入居者の個性を尊重し、能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、笑顔を引き出せるように関わりを持つ。

地域密着型特別養護老人ホームとして、地域に存在する社会資源との共働の機会を増やし、地域福祉発展への貢献度を高める。

### 【重点目標】

#### 1. サービスの質の向上

- ・ご入居者のできる活動を中心としたアセスメントを行い、ADLの維持・向上を目指す。
- ・ご利用者が望み、参加できる余暇活動や慣れ親しんだ地域への外出をご家族と協力し、計画・実施する。
- ・担当者会議にご家族の参加を依頼し、各専門職とで情報共有を行う。

#### 2. 人材の確保、育成、定着

- ・実習受け入れを通して、学生や学校に当施設の魅力を伝え人材確保に繋げる。
- ・ユニットリーダーが各職員と定期的に面談を行い、仕事に対する思い・悩み・学びたい気持ちを共有し、心理的安全性の高い職場作りを行う。
- ・各職員の学習意欲に対し、外部研修を取り入れ部署内でフィードバックする機会をもつことで能力の向上を図る。

#### 3. 運営の安定

- ・毎月稼働状況の評価・分析を行いショートステイと合算で年間平均稼働率95%以上を目指す。
- ・令和6年度の報酬改定を理解し、必要な加算要件を満たす。
- ・BCPの研修・訓練を行い、課題や問題点を確認・改善する。

#### 4. 地域の安心の拠点となる活動

- ・地域のイベントへの参加や協力を通し、地域との連携をもつ。
- ・SNSを活用し、日常の様子を発信することで、認知度を高める。

# 令和6年度 事業計画（案）

社会福祉法人 洛南福祉会  
レーベン横大路ショートステイ

## 【令和6年度 方針】

法人理念を念頭におき、ご利用者の個性を尊重し、能力や生活背景および健康状態に視点を向けることで、生活の場所が変わっても安心して生活できる環境を作り、在宅生活が継続できるような関わりをもつ。

生活の場所の一つとして、ご利用者が自ら「レーベン横大路に行きたい」と思えるショートステイを目指す。

## 【重点目標】

### 1. サービスの質の向上

- ・ご利用者、ご家族からの要望に応えるレクリエーションや行事を計画的に行うことで利用中の楽しみの幅を広げる。
- ・年1回以上満足度調査を実施し、結果を評価・分析しニーズに沿ったサービスを提供する。
- ・ご家族に利用中の様子を写真や手紙を用いて、分かり易く伝える。

### 2. 人材の確保、育成、定着

- ・ICTを活用し業務の効率化を図り、労働環境を整え各職員が働きやすいと思える職場作りをする。
- ・レーベン横大路の魅力をSNSで写真、動画を発信し施設での様子を求職者に随時伝える。

### 3. 運営の安定

- ・毎月稼働状況の評価・分析を行い特別養護老人ホームと合算で年間平均稼働率95%を目指す。
- ・令和6年度の報酬改定を理解し、必要な加算要件を満たす。
- ・BCPの研修、訓練を行い、課題や問題点を確認、改善する。

### 4. 地域の安心の拠点となる活動

- ・地域のイベントに参加・協力し、地域の認知度を高める。



## 令和 6 年度 事業計画（案）

社会福祉法人 洛南福祉会  
レーベン横大路 デイサービスセンター

### 【令和 6 年度 方針】

法人理念を念頭におき、ご利用者に「レーベン横大路に行きたい」「利用が楽しみ」「行けばこれができる」と思っただけのような事業所を目指す。ご家族や関係機関にとっても安心と信頼を共有できるサービス提供に努める。

### 【重点目標】

#### 1. ご利用者の想いを大切にす

- ・ご利用者の想いを形にできるよう、日々のコミュニケーションからニーズをキャッチしイベントや行事に反映させ、毎月のミーティングで評価する。
- ・年 1 回以上満足度アンケートを実施・評価・分析し、ご利用者・ご家族の希望に添えるような内容の充実を図る。
- ・通所 5 センターの企画を計画し、ご利用者・職員の施設間交流を行う。

#### 2. 地域連携の維持・拡大

- ・毎週 SNS の発信、横大路地域のこども園や学校との交流、活動への参加協力し、地域に必要とされるサービスを目指す。

#### 3. 人材定着及び人材育成

- ・職員間のコミュニケーションの強化と意見やアイデアを自由な発想で発言できるような環境作りを目指す。
- ・毎月部署内で計画的に勉強会やカンファレンスをし、ご利用者のニーズや様々なケースに応えられるよう、認知症に対する理解と知識・介護技術を身につける。

#### 4. 定員枠上限までを目標に利用者獲得と運営の安定

- ・定員枠上限までの登録維持に努め稼働状況を毎月分析し、年間平均 90% 以上を目標に稼働の安定を目指す。
- ・BCP の訓練・研修を計画的に行い、スタッフ全員が内容を理解・実践し、非常時に行動できるようにする。
- ・令和 6 年度報酬改定に準じた運営を行う。

# 令和6年度 事業計画（案）

社会福祉法人 洛南福社会  
元 源

## 【令和6年度 方針】

法人理念を意識し、ご利用者・ご家族との「コミュニケーション」を大切にし、「信頼される事業所」を目指し、温かみのあるサービスを提供する。  
入浴特化型ではあるが、イベントや行事の内容を充実することで、ご利用者の希望に添えるサービスを目指す。  
ご利用者が住み慣れた地域で安心した暮らしの継続のために、ご家族や他のサービス事業者・地域の関係者との連携に努める。

## 【重点目標】

### 1. ご利用者・ご家族に寄り添う

- ・ご利用者が自分の想いを声に出せる環境作りと、その「声」に対して迅速な対応をする事で楽しみに繋がるサービスの提供を行う。
- ・満足度調査を年1回以上実施し、結果を評価・分析しニーズに沿ったサービスを提供する。

### 2. 地域連携の維持・拡大

- ・運営推進会議や横大路こども園との交流、・地域の活動に参加・協力する。
- ・毎週 SNS を通じて発信し、幅広く事業所をアピールする。

### 3. 職員の資質向上

- ・年間計画に沿って法人内外の研修参加や部署内での勉強会の計画・実施する。専門知識向上の為に、全員が基礎ランク・Cランク合格を目指す。
- ・職員が自由な発想を実現できる環境を作ることで、達成感がもてる職場づくりを目指す。
- ・元源深草と定期的な合同会議や交流を通して、お互いの職員間連携の強化を図る。

### 4. 事業運営の安定

- ・法人内外の居宅介護支援事業所等の関係施設と連携を深め、毎月の営業活動に力を入れ稼働率の90%以上を目指す。
- ・BCPの研修・訓練の実施で職員全員が内容を理解し、非常時に行動できるようにする。

## 令和6年度 事業計画(案)

社会福祉法人 洛南福祉会  
レーベン横大路居宅介護支援事業所

### 【 令和6年度 方針 】

介護保険制度の趣旨を踏まえ、法人理念や基本方針に沿った支援を実施し、ご利用者お一人おひとりの生活の質が向上するよう、専門職としての役割を自覚し、目標に沿って取り組んでいく。

### 【 重点目標 】

#### 1. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者、ご家族に対して満足度アンケートを年1回実施し、評価分析し望まれる暮らしを理解し支援する。
- ・法人独自の研修に参加するなど、認知症ケアの理解を深め、質の高いケアマネジメントを展開する。

#### 2. 地域に根差す

- ・地域住民組織の活動に年1回以上、参加・協力し、繋がりを深める。
- ・地域の専門職活動に参加し、連携を深める。
- ・年1回以上、他法人と共同で研修を企画・実施し関係強化を図る。

#### 3. 人材の確保・育成

- ・職員ごとに個別具体的な目標と実施方法を計画し、進捗状況を前期・後期に確認・評価し、資質向上する。
- ・参加する委員会や会議、地域組織活動などに積極的に参加し、発信力や協働の重要性を理解する。

#### 4. 経営の安定

- ・介護支援専門員1人あたり稼働35件以上を達成できるよう稼働状況を毎月分析する。
- ・地域の相談窓口である地域包括支援センターや地域医療連携室・退院支援センターとの協働の機会に積極的に取り組む。
- ・特定事業所加算Ⅱの算定を継続する
- ・居宅予防支援会議を活用し介護報酬改定に準じた事業所運営を行う。